



Coca-Cola zero 2014 Suzuka 8 hours



2014 FIM世界耐久選手権シリーズ第2戦 “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 第37回大会

MEDIA INFORMATION 2014.4.12



リミットを打ち破れ。

渴いているか?

zero Limit

カロリー zero
保存料 zero
合成香料 zero

www.8tai.com 

鈴鹿8耐の最新情報はここでチェック!



2014 FIM Endurance World Championship Series
The 37th "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours FIM Endurance World Championship

SUZUKA CIRCUIT
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR



INDEX

はじめに	1
開催概要	2
2013鈴鹿8耐レビュー	3
2014鈴鹿8耐プレビュー	4
注目チームのエントリーが早くも決定。 レギュレーションの変更が戦いをさらに激化させる!	
スペシャル TOPICS	5
“コカ・コーラ ゼロ”と鈴鹿8耐のパートナーシップを今年も楽しもう!!	
キャンペーンニュース.....	6~7
もっと 8tai! キャンペーン~8tai! ヤング割 0円! キャンペーン ~子どもと一緒に! キャンペーン	
イベント TOPICS.....	8~13
ヨシムラ60周年特別展示 ~挑み続ける技術者たち~ 鈴鹿8耐に新エリア「BASE 8耐」登場! 鈴鹿8耐前夜祭~現役ライダーのトークショーなどを開催!! 日本最大級のバイクパレード / 第16回バイクであいたいパレード2014開催概要 ゆうえんちモトピアも8耐一色! スペシャルカードで観戦できる!!	
地域コラボレーション	14~15
今年も8耐は、ご当地コラボが熱い! ~伊賀・甲賀、浜松、豊橋	
グルメ TOPICS	16
8耐限定! チーム応援特別メニュー	
メディアコラボレーション	17
2014 TV PROGRAM / 地上波~CBCテレビ BSデジタル~全国無料放送の「BS12ch TwellIV(トゥエルビ)」にて今年も放送 SNS~Twitter活用術のご案内	
エリアインフォメーション.....	18~19
8耐ファミリーキャンプのご案内 天然温泉クア・ガーデン / ホテル宿泊プラン	
チケットインフォメーション	20~25
お問い合わせ	26



2014 FIM Endurance World Championship Series
The 37th "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours FIM Endurance World Championship

SUZUKA CIRCUIT
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR



はじめに

“もっと8tai! もっとBike!” ～「日本最大級のバイクの祭典」鈴鹿8耐～

平素は、当社事業に多大なるご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
今年もコカ・コーラ様のご協賛のもと、2014FIM世界選手権シリーズ第2戦「“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿8時間耐久ロードレース」を開催させていただきます。

鈴鹿8耐は1978年に第1回大会が開催されて以来、今年で37回を数えます。
長い歴史の中、その時代ごとに幾多の名勝負が繰り広げられ、ファンの皆様に魅了し続けて参りました。

真夏の8時間という過酷な状況でありながらスプリントレース並の速さが求められ、僅かなミスも許されずに走り続けるライダーと、彼らを支えるチームの姿は、いつの時代も見る者の心を奪い、多くの感動を我々に与えてくれます。
夕闇に染まるサーキットがヘッドライトに照らされ、やがてチェッカーフラッグが振られる瞬間。それまで同じ時間、同じ空気、同じ音を共有した全ての皆様が一体となり、会場全体が感動と興奮に包まれ、ひとつのドラマが完成します。
この筋書きのないドラマこそが、鈴鹿8耐でしか味わうことのできない、不変の魅力と言えます。

今年は、早くから有力チームのビッグニュースが届き、例年に増して見どころの多い大会となります。
また、私共は“もっと8tai! もっとBike!”をテーマに、往年のファンの皆様、さらに次世代とも言える新しいファンの皆様に、8耐とバイクの魅力をより感じていただけるよう観戦環境を進化させ、鈴鹿サーキット全体を「日本最大級のバイクの祭典」として演出いたします。ぜひ、鈴鹿サーキットに足を運んでいただき、今年の「“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿8時間耐久ロードレース」をお楽しみいただきたいと思います。

最後になりますが、地元の皆様、メディアの皆様、FIM、MFJをはじめとする関係各位の皆様、そして1984年以来の長きにわたり、この鈴鹿8耐の歴史を共に作り上げていただきました、世界ナンバーワンブランドのコカ・コーラ様に厚くお礼申し上げます。



株式会社モビリティランド 取締役社長

曾田 浩



2014 FIM Endurance World Championship Series
The 37th "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours FIM Endurance World Championship

SUZUKA CIRCUIT
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR



“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐開催概要

- (1) 大会名称 2014 FIM世界耐久選手権シリーズ第2戦
 “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 第37回大会
 (英文表記) 2014 FIM Endurance World Championship Series Round 2
 The 37th “Coca-Cola Zero” Suzuka 8hours FIM Endurance World Championship
- 併催 2014 鈴鹿・近畿選手権シリーズ第4戦
 鈴鹿4時間耐久ロードレース(ST600)
- (2) 主催 一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
 株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
- (3) 後援 文部科学省、観光庁、三重県、鈴鹿市、鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会、
 一般社団法人鈴鹿市観光協会、鈴鹿商工会議所
- (4) 大会冠協賛 コカ・コーラ ゼロ
- (5) テレビ放送 地上波：CBCテレビ
 衛星放送：BS12ch TwellV(トゥエルビ)
- (6) 会場 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(1周／5.821km)
 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL:059-378-1111(代)
- (7) 開催日程 2014年 7月24日(木)～7月27日(日)

7月 24日(木)	特別スポーツ走行
25日(金)	公式練習／公式予選
26日(土)	決勝出場チーム フリー走行
	TOP10トライアル(公式予選)
	“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐前夜祭
27日(日)	“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 決勝 11:30スタート／19:30ゴール

●鈴鹿4時間耐久ロードレース スケジュール

7月 24日(木)	特別スポーツ走行
25日(金)	公式予選
26日(土)	鈴鹿4時間耐久ロードレース 決勝
	8:30スタート／12:30ゴール

※スケジュールは変更になる場合があります。



2014 FIM Endurance World Championship Series
The 37th "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours FIM Endurance World Championship

SUZUKA CIRCUIT
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR



Coca-Cola zero 2014 Suzuka 8 hours



◆ 2013鈴鹿8耐レビュー

日本で最も歴史ある耐久ロードレース、 それが“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース、通称8耐は、1978年に第1回大会が開催された、日本でもっとも歴史のある耐久ロードレースの一つだ。

全日本ロードレースなどのスプリントレースが、一定の距離(周回数)をどれだけ短い時間で走り切れたかを競うものであるのに対して、この8耐は、8時間という時間内でどれだけ長い距離を走れたかを競うもの。

ライダーは、1チーム2名または3名の登録制。もちろん、3人で走った方が1人に掛かる負担が減るが、1台のマシンを乗り継ぐ耐久レースでは、それぞれのライダーのセッティングをマシンに反映させることがもっとも重要で難しいと言われる。2人ならば、お互いの妥協点を見つけられ

る可能性が高いが、3人ともなれば、全員が乗りやすいマシンを作ることはもっと難しくなる。また、3人制の導入で補欠ライダーの登録ができなくなったことから、1チーム2名で登録したチームは、片方のライダーが出走できなくなった時点で、リタイヤに追い込まれるリスクを負っているのだ。

使用されるマシンは時代背景によって変わってきたが、2008年からはフォーミュラEWC (Endurance World Championshipの頭文字)と呼ばれるもので、全日本JSB1000のマシンに夜間走行対応のライト類を搭載したマシンとも言える。



36回の歴史、2013年の激闘

8耐の第1回大会は、コンストラクターのヨシムラが優勝し、その名を改めて世界に轟かせることになった。同時に、メーカー直系のワークスチームと高い技術力を持つコンストラクターの戦いという図式が出来上がった瞬間でもあった。

一方で、世界でその名を馳せる以前の、若き日の平忠彦、エディ・ローソン、フレディ・スペンサー、ワイン・ガードナー、ミック・ドゥーハン、ケビン・シュワーツらもこの8耐に参戦。特にガードナーは8耐での活躍が認められてHondaのワークスライダーとなり、世界グランプリの500ccクラスでチャンピオンを獲得しており、まさに8耐によってレース人生が変わったライダーだ。

そして昨年の大会では、21年ぶりにシュワーツがTeam KAGAYAMAから参戦。レースは、序盤でトップを快走していたF.C.C. TSR Honda 清成龍一が転倒でリタイヤ。さらにレース終盤では、雨がサーキットを濡らす、スリックタイヤのまま走行を続けたMuSASHi RT HARC-PRO. 高橋巧が8耐2勝目を記録。一方、転倒やレース途中でのペナルティでピットストップとなったヨシムラスズキレーシングチームが大逆転の2位、そしてシュワーツを擁するTeam KAGAYAMAは、レース終盤での雨に翻弄されながらも3位でチェッカーを受けた。



2014 FIM Endurance World Championship Series
The 37th "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours FIM Endurance World Championship

SUZUKA CIRCUIT
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR



◆ 2014鈴鹿8耐プレビュー

注目チームのエントリーが早くも決定。 第37回大会は国内外チームが入り乱れてのガチンコ勝負!

今年の8耐で注目されるのが、カワサキ直系としては13年ぶりの参戦となるTeamGREENだ。このチームは全日本JSB1000に柳川明と渡辺一樹の2台体制で参戦中。ライダーは3人となるのが有力で、もう一人のライダーが注目を集めている。

また、昨年に続いてケビン・シュワツの参戦が決定した。チームは、Legend of ヨシムラスズキシェルアドバンスレーシングチーム。パートナーは、やはり往年の名ライダーで、1986年にシュワツとコンビを組んだ辻本聡だ。そしてヨシムラはもう1台、津田拓也とジョシュ・ウォーターズが組み2台体制となるが、どちらも第3ライダーが誰になるのか、今後の動向が気になるところだ。

一方、2012年・2013年と2年連続でポールポジションを獲得した中須賀克行について、ヤマハからはまだ正式発表はない。これまでは、世界耐久選手権シリーズにレギュラー参戦するモンスターエナジーヤマハYARTからレンタル移籍での参戦だったが、その発表が待たれるところだ。

こうした強豪チームを迎え撃つのがHonda勢。2006年・2011年・2012年に優勝したF.C.C. TSR Hondaは、エースライダー秋吉耕佑を起用する。そして、2010年・2013年の覇者であるMuSASHi RT HARC-PRO.は、全日本ロードレース選手権JSB1000を戦う高橋が主力となることは間違いない。昨年は、怪我が癒えないレオン・ハスラムと、鈴鹿初参戦のマイケル・ファン・デル・マークとのコンビで戦い、2010年の8耐初参戦以来、2勝と2位、3位それぞれ1回と抜群の表彰台登壇記録を持つ高橋。8耐の申し子とも言える高橋の、今年のパートナーが注目される。

この他にも、全日本JSB1000でプライベートとして着実に結果を残す山口辰也、KTMとジョイントするHamaguchi Racingをはじめ、BMWやDucatiといった外車勢の存在も話題性が高い。そして何より、近年では上位入賞を果たす世界耐久選手権のレギュラーチームのポテンシャルも注目したい。



TeamGREEN / 柳川明(左)と渡辺一樹



ケビン・シュワツ(左)と辻本聡(右)がペアを組み、監督が吉村不二雄氏というドリームチーム

レギュレーションの変更が戦いをさらに激化させる!

今年、8耐のレギュレーションで大きく変わる規則がある。予選・決勝レース中のタイヤ使用本数制限だ。これまでタイヤ本数に制限はなかったが、今年は最大使用可能本数に制限が設けられるのだ(※フリー走行・トップ10トライアルは除く)。

8耐では多くのチームが1時間前後でピットインし、燃料補給とライダー交代、そしてタイヤ交換を行う。通常このタイヤ交換はフロント、リアをセットで交換するが、これをスタートから8スティント(7回のピットイン)で繰り返すと、単純に16本のタイヤを使用することになる。しかし今年には16本もタイヤが使用できなくなる。"スプリント耐久"と言われるほどアベレージタイムが速い8耐では、タイヤを労って走ると当然上位には食い込めない。しかしタイヤを酷使しすぎると、8時間のうちどこかで無理が生じる。ハイレベルなライディングとピット戦略が求められ、チームの総合力が試されることになる。なおこの本数制限は、雨が降りウエット宣言が出された時点で解除される。

また、8耐の見どころであるピットワークに影響を与えそうなレギュレーション変更として、ホイールチェンジシステムの解禁が挙げられる。今まではホイール側に付けなければならなかったスプロケットやブレーキ類を、スイングアーム側に付けることが認められるのである。これによりピットワークのミスが減り、ピットストップ時間の短縮が期待される。ただし、新システムを採用することで新たなトラブルが発生する可能性もあり、波乱が生まれる可能性も大いにある。

このほか、EWCクラスより改造可能範囲が狭いスーパーストッククラスでのエントリーも認められるようになった。より安価に8耐へ参戦できるようになり、プライベートの増加や、アジアからの参戦増加にも期待ができる。今年の8耐は、レギュレーションの変更がもたらす影響にも注目したい。



◆ 2014スペシャル TOPICS .

“コカ・コーラ ゼロ”と鈴鹿8耐のパートナーシップを今年も楽しもう!!

“コカ・コーラ ゼロ”イベントブースで盛り上がりよう!!



※写真は昨年の様子です。

8耐でもっとも賑わうイベントスペース『GPスクエア』の象徴である“コカ・コーラ ゼロ”イベントブース。今年もイベントブースは、メインステージに加え、オリジナルグッズ販売コーナー「COKE STORE」とドリンク販売コーナーが一体となって登場。ステージでは、ゲストトークショーや“コカ・コーラ ゼロ”サーキットクイーン撮影会をはじめ、様々なイベントが実施されます。“コカ・コーラ ゼロ”を飲みながら鈴鹿8耐のイベントを楽しもう!

グランドスタンドV2席は、スタートの興奮、感動のフィナーレ、そしてコカ・コーラの魅力を思いっきり味わえる!!



大好評のコカ・コーラ製品の決勝8時間飲み放題を今年も実施。グランドスタンドV2席でスタートとゴールの感動を、コカ・コーラ ゼロを飲みながら味わおう!

コカ・コーラ製品 飲み放題について

7月27日(日)決勝レース中 [8時間限定 11:30~19:30]

※コカ・コーラ製品は一部に限定させていただきます。

※ご希望の商品が品切れになる場合もございます。

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐オリジナルデザインの飲料自動販売機が登場



2008年に初登場した、“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐オリジナルデザインの飲料自動販売機が新たなデザインで登場!! 今年も夏の日中に冷却用の電力を使わず、消費電力を95%削減しながらも、鈴鹿8耐の倍の16時間もの間、冷たい製品を提供することができる「ピークシフト自販機」を設置いたします。この自動販売機を見かけたらコカ・コーラ ゼロを飲みながら鈴鹿8耐に想いを馳せよう!!

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐オリジナルデザイン自販機

Honda CBR1000RRが、“コカ・コーラ ゼロ”カラーで登場!!



※写真はすべてイメージです。

2007年から大会タイトルを“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐として開催し8年目となる今年の鈴鹿8耐では、Honda CBR1000RRをプロモーションバイクとし、サーキットはもちろん、昨年に引き続きあらゆる場面で登場。“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐をPRしていきます。

※イベント内容は変更される場合があります。